



京都はぐくみ憲章

京都市立鷹峯小学校

校長 今井 大介

たかがみねだより

TEL491-3607 FAX491-3697

鷹峯小学校 HPQR コード→



日頃は、本校の教育活動にご理解・ご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。今まで、保護者の皆様にご協力をいただいている「アンケート」調査を学校評価の大切な指標として、保護者の皆様のご意見を本校教育に生かす取組を進めてまいりました。

今年度も、9月に「上半期アンケート」として、ご協力いただきました。結果をもとに、本校の教育活動の中で、継続発展すべきところ、改善すべきところや課題を明らかにし、今後の教育活動に生かしていきたいと思います。

また、本アンケートの結果は、学校運営協議会理事会でも共有しています。お知りおきください。

学校評価アンケートの概要

児童、保護者、教職員を対象にアンケートを行いました。質問項目は、『確かな学力』『豊かな心』『健やかな体』の3つの内容を問うものです。

この3つは、本校学校教育目標の『目指す子ども像』の柱でもあります。

(1)『確かな学力』

「人の話を聞くこと」、「思考と表現に関わること」、「家庭学習に関わること」などを聞いています。

(2)『豊かな心』

「ものを大切にすること」、「きまりや約束を守ること」、「自分から挨拶すること」などを聞いています。

(3)『健やかな体』

「生活習慣に関すること」、「好き嫌いなく食べること」、「安全に関すること」などを聞いています。

I. 結果

【全校児童】

	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
人の話を最後まで聞いていますか。	37%	55%	8%	0%
自分の思いや考えを、言葉や文章で表現できていますか。	31%	48%	19%	2%
時間を決めて、ていねいに家庭学習に取り組んでいますか。	30%	50%	17%	3%
身の回りの物を、大切にできていますか。	57%	37%	6%	0%
きまりや約束、社会のルールを守っていますか。	48%	45%	7%	0%
周りの人や友だちを大切にして、思いやりの心をもって、接していますか。	61%	35%	4%	0%
自分から進んで、気持ちよくあいさつができますか。	48%	38%	12%	2%
健康に気を付けて、生活や体力づくりができますか。	49%	39%	10%	2%
お家の食事や給食は、好き嫌いなく、何でも食べていますか。	54%	30%	15%	1%
安全(交通・防犯)に気を付けていますか。	76%	20%	4%	0%

【低学年 児童】

	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
人の話を最後まで聞いていますか。	35%	58%	7%	0%
自分の思いや考えを、言葉や文章で表現できていますか。	28%	47%	23%	2%
時間を決めて、ていねいに家庭学習に取り組んでいますか。	28%	58%	12%	2%
身の回りの物を、大切にできていますか。	55%	45%	0%	0%
きまりや約束、社会のルールを守っていますか。	45%	48%	7%	0%
周りの人や友だちを大切にして、思いやりの心をもって、接していますか。	65%	35%	0%	0%
自分から進んで、気持ちよくあいさつができますか。	63%	30%	7%	0%
健康に気を付けて、生活や体力づくりができますか。	63%	30%	7%	0%
お家の食事や給食は、好き嫌いなく、何でも食べていますか。	50%	28%	20%	2%
安全(交通・防犯)に気を付けていますか。	65%	30%	5%	0%

【中学年 児童】

	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来っていない
人の話を最後まで聞いていますか。	37%	61%	2%	0%
自分の思いや考えを、言葉や文章で表現できていますか。	44%	44%	12%	0%
時間を決めて、ていねいに家庭学習に取り組んでいますか。	24%	54%	17%	5%
身の回りの物を、大切にできていますか。	56%	32%	12%	0%
きまりや約束、社会のルールを守っていますか。	44%	49%	5%	2%
周りの人や友だちを大切にして、思いやりの心をもって、接していますか。	70%	23%	7%	0%
自分から進んで、気持ちよくあいさつができますか。	39%	49%	7%	5%
健康に気を付けて、生活や体力づくりができますか。	51%	37%	10%	2%
お家の食事や給食は、好き嫌いなく、何でも食べていますか。	37%	44%	17%	2%
安全(交通・防犯)に気を付けていますか。	63%	27%	10%	0%

【高学年 児童】

	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
人の話を最後まで聞いていますか。	40%	48%	12%	0%
自分の思いや考えを、言葉や文章で表現できていますか。	21%	53%	21%	5%
時間を決めて、ていねいに家庭学習に取り組んでいますか。	33%	44%	21%	2%
身の回りの物を、大切にできていますか。	55%	38%	7%	0%
きまりや約束、社会のルールを守っていますか。	50%	43%	7%	0%
周りの人や友だちを大切にして、思いやりの心をもって、接していますか。	62%	36%	2%	0%
自分から進んで、気持ちよくあいさつができますか。	35%	50%	10%	5%
健康に気を付けて、生活や体力づくりができますか。	32%	52%	14%	2%
お家の食事や給食は、好き嫌いなく、何でも食べていますか。	53%	31%	14%	2%
安全(交通・防犯)に気を付けていますか。	77%	21%	2%	0%

【保護者】

	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
お子達は、人の話を最後まで聞いていますか。	10%	65%	23%	2%
お子達は、自分の思いや考えを、言葉や文章で表現できていますか。	14%	46%	40%	0%
お子達は、時間を決めて、ていねいに学習に取り組んでいますか。	11%	54%	35%	0%
お子達は、身の回りの物を、大切にできていますか。	12%	59%	28%	1%
お子達は、きまりや約束、社会のルールを守っていますか。	26%	67%	7%	0%
お子達は、周りの人や友だちを大切にして、思いやりの心をもって、接していますか。	37%	58%	5%	0%
お子達は、自分から進んで、気持ちよくあいさつができますか。	30%	52%	16%	2%
お子達は、健康に気を付けて、生活や体力づくりができますか。	30%	57%	13%	0%
お子達は、お家の食事の際、好き嫌いなく、何でも食べていますか。	32%	46%	17%	5%
お子達は、安全(交通・防犯)に気を付けていますか。	28%	64%	8%	0%

【教職員】

	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
児童は、人の話を最後まで聞いていますか。	6%	71%	23%	0%
児童は、自分の思いや考えを、言葉や文章で表現できていますか。	0%	59%	41%	0%
児童は、時間を決めて、ていねいに学習に取り組んでいますか。	18%	53%	29%	0%
児童は、身の回りの物を、大切にできていますか。	12%	59%	29%	0%
児童は、きまりや約束、社会のルールを守っていますか。	24%	76%	0%	0%
児童は、周りの人や友だちを大切にして、思いやりの心をもって、接していますか。	24%	71%	5%	0%
児童は、自分から進んで、気持ちよくあいさつができますか。	18%	53%	29%	0%
児童は、健康に気を付けて、生活や体力づくりができますか。	6%	71%	23%	0%
児童は、給食を好き嫌いなく、何でも食べていますか。	12%	76%	12%	0%
児童は、安全(交通・防犯)に気を付けていますか。	12%	82%	6%	0%

2. 分析

多くの子どもたちが「安全に気を付けている」「友だちに思いやりをもって接している」「身の回りの物を大切にしている」といった項目で高い評価を得ており、日々の生活の中で、子どもたちが周囲との関わりや日常生活を丁寧に過ごすと、しっかりとした意識をもって行動できている様子がうかがえました。

一方で、『家庭学習の取組』『自分の思いや考え方の表現』『あいさつの習慣』『健康・体力づくり』『食事の好き嫌い』においては、改善の余地があると感じられる結果となりました。

また、「自分の思いや考え方を言葉や文章で表現する力」については、学年が上がるにつれて課題が見られる傾向がありました。これは、学習内容が高度になる中で、表現力や学習習慣の定着が求められていることの表れとも言えます。

GIGAスクール構想の推進により、1人1台端末の整備が実現し、学校現場では、子どもたちが自ら調べ学習をする際や、子ども同士のコミュニケーションツールとしてICT活用が急速に進んでいます。また、プレゼンテーションや発表の場面、さらには協働学習にも活用されています。ICT活用により、情報収集能力や表現力、コミュニケーション能力の向上が期待されています。

効果的なICT活用は、学習意欲を高め、学力向上につながる可能性がありますが、一方で、ICTに過度に依存せず、従来の学習方法とのバランスを取ることが重要であると言われています。

スウェーデンでは、早くから進められたデジタル化政策の結果、①読解力の低下：スクリーン上での読書増加により、長文を深く読み込む能力が低下、②集中力の欠如：デジタル機器の過度な使用による注意力散漫、③手書きスキルの低下：タイピング重視による筆記能力の衰退という問題が浮上しました。これらの課題に対し、スウェーデンは「基礎に戻る」教育方針を採用し、紙の教科書や手書きの重視、デジタル機器使用の制限などを実施しています。

ICT機器を活用し、情報検索が容易になったことで、深く考えずに答えを求める傾向が強まり、かえって「自分で考えて取り組む力」を低下させる可能性があります。試行錯誤の過程を省略させてしまうことにより、問題解決能力や創造的思考力の低下を危惧しなければなりません。また、タイピングでの文字入力やペーストの多用は、手で書く機会が減り、漢字の習得にも影響を与える可能性が出てきます。

そこで、本校では、デジタルとアナログをバランス良く使用することで、「書く力」の維持・向上に努めていきたいと考えています。ノートを取る際に「手書き」することで、内容の整理や要約が手と頭で行われ、情報の記憶や理解を深める上で重要な役割を果たし、学習効果が高まります。手書きの時間を確保しつつ、デジタルツールを活用して図形作成などをすることで、想像力や読み書き能力を向上していきたいと考えています。デジタルに頼りすぎず、バランスの取れた学習環境を整えることで、ICT教育のメリットを最大限に生かしつつ、従来型の学習方法の「強み」も生かしていくべきだと考えています。

3. 課題に対する具体的な取組

家庭学習の取り組み

家庭での学習習慣の定着に向けて、週予定表における学習記録カードの活用や、「自学」の目標設定の支援を行っていきます。

自分の思いや考え方の表現

日々のノート指導や話し合い、日記、作文活動を通して、自己表現力を育てていきたいと考えています。

あいさつの習慣

朝会や児童会によるあいさつ運動などを通して、気持ちのよいコミュニケーションの大切さを伝えていきます。

健康・体力づくり

運動習慣や生活リズムの見直しを促し、元気に過ごせる力を育てていきます。

食事の好き嫌い

給食指導や食育活動を通して、食への関心や感謝の気持ちを育てていきます。

4. さいごに

鷹峯小学校の学校教育目標『自ら感じ・考え・行動・協働し、学び合う鷹峯の子－自律・承認・創造－「対話」を通して……人とのかかわり・学びを生かす子どもの育成』を実現していくために、学校の教育活動全体について絶えず見直すことを大切に、教職員の強みを生かして、改善の努力をしていきたいと思います。

ご家庭でも、子どもたちが自分の思いを話す機会や、学習時間を意識して過ごす習慣づくりをしてくださっていると聞いています。「学校」と「家庭・地域」の両輪で、引き続きよろしくお願ひいたします。